

2020年6月26日
大王製紙株式会社

大成製紙板紙マシンの継続運転について

当社は、2018年5月に2020年までの第3次中期事業計画における紙・板紙の構造改革として「メディア用途の紙」から「梱包・包装用途の紙」へのシフトを掲げ、洋紙マシンである三島工場N7号抄紙機の板紙マシンへの改造と生産・販売バランスの調整として子会社である大成製紙の板紙マシンの停機を公表いたしました。

三島工場N7号抄紙機は、計画通り2019年10月に停機し、板紙への設備改造工事を進め、4月1日より営業運転を開始しましたが、三島工場の臨海立地と流送パルプの競争力を活かした中国・東南アジア向け新製品（高破裂ライナー）の上市による差別化提案により、輸出販売は当初の想定を上回る販売が見込まれています。

今後、大成製紙の板紙マシンを停機し、三島工場N7号マシンへ生産移管した場合、国内の安定供給並びに三島工場N7号マシンの優位性を活かした中国・東南アジア市場に対する更なる輸出事業の拡大に支障をきたすと判断し、この度大成製紙の板紙マシンの継続運転を行うこととしました。引き続き、市場の需要構造の変化に対応しながら、国内需給バランスの維持と収益性の向上に努めてまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

大王製紙株式会社

新聞・洋紙事業部 兼 産業用紙事業部 営業推進部

松原 TEL：03-6856-7533